



スポーツ講演会

上智大学創立100周年記念事業

スポーツを通した人間教育

— スポーツが果たせる社会的役割 —

上智大学創立100周年を記念したスポーツ講演会は、上智大学とソフィア会との共催で、ロサンゼルス五輪柔道無差別級金メダリストで国民栄誉賞を受賞し、現役時代のその圧倒的な強さから「史上最強の柔道家」との声も多い山下泰裕氏をお招きします。柔道家としての生い立ちや世界の舞台での戦いの経験を通じて、「スポーツを通した人間教育」について語っていただきます。

講演者：山下泰裕氏

東海大学理事・副学長

NPO法人柔道教育ソリダリティー理事長

日時：2013年4月23日(火)

17:00 開場

17:30~19:30 講演

場所：上智大学四谷キャンパス10号館講堂

共催：上智大学・上智大学ソフィア会



【山下泰裕氏プロフィール】

1957年熊本県生まれ。講道館柔道8段。9歳から柔道を始める。76年東海大学柔道部で佐藤宣践監督の薫陶を受ける。77年史上最年少で全日本選手権優勝。83年東海大学体育学研究科修士課程終了。同大学教授、体育学部長を経て2011年より副学長。80年モスクワ五輪は日本がボイコットしたため“幻のモスクワ代表”と言われた。84年ロサンゼルス五輪無差別で待望の金メダルを獲得。同年10月国民栄誉賞受賞。85年全日本選手権9連覇、203連勝の大記録を残して現役引退。96年アトランタ、00年シドニー五輪日本代表監督。03年9月にIJF(国際柔道連盟)教育コーチング理事に就任し柔道の世界的発展に寄与。06年認定NPO法人「柔道教育

ソリダリティー」を設立し、柔道を通じて海外との異文化交流、相互理解、開発途上国に対する柔道衣などの援助などを行っている。ロシアのプーチン首相との交流が深い。著書は『武士道とともに生きる』『プーチンと柔道の心』『指導者の器』など多数。現在は、東海大学理事・副学長、NPO法人柔道教育ソリダリティー理事長、またフェアプレーの精神を掲げ、いじめ撲滅運動を神奈川県から発信している神奈川県体育協会会長。全日本柔道連盟理事として幅広く活動中。

聴講者：上智大学在校生、卒業生、教職員(入場無料)

申込み：在校生の聴講は当日受付けします。(定員700名、事前申し込み不要)

卒業生、教職員(定員100名)は、ソフィア会ホームページから申込み下さい。

<http://www.sophiakai.gr.jp/>

問い合わせ

上智大学ソフィア会事務局

☎ 03-3238-3041